

月刊 京都市教育委員会ニュース (仮題)

多数御応募をいただきました中から、現在、名称の選考を行っております。

vol. 2 平成14年10月号 発行：京都市教育委員会企画課 (222-3768)

養護学校高等部に 初めての職業学科を設置

本市では、障害のある子どもたちの雇用をめぐる厳しい状況の中、就職を希望する生徒や保護者のニーズに応えるため、養護学校高等部での教育を抜本的に改革・充実し、このたび、働くための幅広い知識や技術を学ぶ初めての職業学科を白河養護学校と鳴滝養護学校に設置することとしました。

設置は平成16年4月で、これらの養護学校高等部では、生徒の働く意欲を高め、より自立的に生きる力を育成する職業教育を創造し、これまで以上に企業等への就職を目指した取組を進めます。

【職業学科の内容】

- (1) 白河養護学校高等部産業総合科(1学年32名)
→製造・加工、情報・印刷、農園芸・造園。現行の普通科を改編。
- (2) 鳴滝養護学校高等部生活産業科(1学年16名)
→メンテナンス、アメニティサービス(クリーニング等)。生活衛生関連のサービスを中心とした学科を併設。



また、職業学科新設についての保護者説明用リーフレット(写真右)や、全国初の総合制・地域制養護学校の再編に向け、教育内容についての研究状況や施設整備の内容、新たに設定した4つの通学区域を紹介するリーフレット(写真左)を作成し、障害のある生徒の保護者をはじめ、京都市立学校や関係機関に配布しています。

ご意見・お問合せ＝養護育成課 (352-2285)

全校を光ファイバーで接続

ネットワークの整備により、動画データ等も自由に活用できます



調べ学習等、学校でインターネットを活用する機会が増加する中、本市が整備を進めてきた「市立学校光ファイバー高速通信ネットワーク事業」の概要が、このほど、まとまりました。

これは、全ての市立学校を大容量の通信回線である光ファイバーで接続するもので、整備費は2億9,500万円。複数のコンピュータからのインターネット活用をスムーズに行えるほか、校種を越えた教材のデータの共有化等を可能にするものです。

運用は平成15年3月から順次開始。4月には全校で開始する予定です。

ご意見・お問合せ＝情報教育センター (841-3505)

<10月の主な予定>

- 1日(火) 11 中学校で選択制給食開始
(今年度は23中学校で開始)
- 1日～3月23日 「水と博物館」スタンプラリー
(水と緑の深い博物館や水琴窟を巡ります)
- 4日(金) 第2回21世紀の理科を考える京都市民会議
- 5日(土) 不登校問題フォーラム(会場：京都アスニー、シンポジウム<当日先着400人>等)
- 11日(金) 第4回子どもカウンセリングセンター企画懇話会
- 14日(祝) 落合恵子と考える「子どもの読書」
- 17日～12月24日 企画展「京都の学校の礎を築いた人々」
(会場：学校歴史博物館)
- 17・23・29日 出前教育相談(幼児・小・中学生の保護者対象の相談会、7会場で実施、事前申込制)
- 26日～11月17日 ミュージアムロード2002～京の文化探訪
(会場：勧業館みやこめっせ、休館日：28日・11月5・11日、織物・陶磁器・茶道具等を展示)

注目

9日

図書館蔵書情報のインターネット発信開始

市立図書館のコンピュータシステムの更新に伴い、図書館全18館、こどもみらい館子育て図書館、移動図書館の蔵書情報を新たにインターネットで発信します。これにより、パソコンから、図書館の本・資料の有無や貸出状況が検索できるようになります。

*ホームページアドレス <http://www.kyotocitylib.jp/>

地域教育フォーラム・イン京都に 3,500 人が参加

8月26日、京都の教育実践を広く発信する第4回「地域教育フォーラム・イン京都」を、国立京都国際会館で開催しました。会場は、京都市立学校の教職員・保護者をはじめ、千葉から沖縄まで、全国から3,500名を超える参加者で埋め尽くされました。中でも、学校完全週5日制の下、夏休みの様変わりを象徴するように、校内研修の一環として参加した教職員の姿が目立ちました。

修学院第二小学校「ドリームバンド」の演奏により開幕。「世界水フォーラム」開催にちなんで梅津北小学校・神川中学校児童・生徒による環境学習の取組報告が行われました。続いて、新教育課程が全面実施された今、学校・家庭・地域が果たすべき役割について、また、子どもたちの確かな学力の育成や自己肯定感情の獲得について、教育評論家の尾木直樹氏による示唆に富んだ記念講演に、参加者は真剣に聞き入っていました。

午後からは7つの分科会において、活発な協議が展開されました。とりわけ、第5分科会での学校評議員によ

る学習活動への参加、第7分科会での保護者による「子育て語り合いサロン」や父親料理教室の取組など、多くの保護者・地域の方々から報告していただきました。

これらの取組報告により、学校・家庭・地域の連携の在り方を教職員のみならず、保護者・地域の方々がともに考える大変有意義な一日となりました。

ご意見・お問合せ＝地域教育専門主事室（254-5007）



多数の参加者で埋め尽くされた会場、第2会場も満席に

西京高校新学科説明会に2600人！



説明会で西京高校に寄せる思いを語られた
堀場を西島右学術顧問

8月31日、堀川高校に引き続く「京都市立高校改革」の第2弾として、来年4月に開校する「西京高校」の新学科「エンタープライジング科（未来社会創造学科）」の説明会を国立京都国際会館で開催。当日は、府内全域から約2,600名の中学生・保護者が参加し、第2会場も満席となるほどの盛況となりました。

説明会では西京高校の学術顧問である堀場雅夫氏（株式会社堀場製作所取締役会長）・西島安則氏（京都市立芸術大学学長）から、新しい時代に求められる人材像や新学科に寄せられる熱い思いを語っていただいた後、英語の模擬授業やコンピュータを用いたプレゼンテーション、選抜方法の説明、また新しい制服の発表等を行いました。

進路選択を控えた中学生の真剣な眼差しが舞台に注がれ、新生西京高校に向けられる期待の大きさがうかがえる説明会となりました。

ご意見・お問合せ＝学校指導課（222-3811）、西京高校新学科開設準備室（813-2626）、西京商業高校（841-0010）

なんばあわん

市独自の講師を活用した少人数教育 小学校1・2年生で35人学級実施へ （政令指定都市初）

学級（クラス）の定員が40人とされ、小・中学校の教員の人件費を国・府が負担する現行制度のもと、本市では、一人一人に応じたよりきめ細かな教育を推進するため、平成12年4月、政令指定都市で初めて市が人件費を負担する講師30人を小学校に配置。特定の教科で2つの学級を3つの学習集団に細分化して授業を行うなど、学級の枠を越えた少人数教育の実践研究を行ってきました。

この取組による成果やPTA・学校が参画する「新世紀教育改革推進プロジェクト」における要望をもとに、9月11日の市会本会議において、榎本頼兼市長が、「府と十分に協議し、15年度に小学校1年生を対象に、16年度から2年生に拡大して35人学級を導入する考えである」と述べました。この「少人数学級」を市独自に行うのも政令指定都市で初めてとなります。

ご意見・お問合せ＝教職員課（222-3781）、学校指導課（222-3808）